



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣地 厚

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	58,067	18.2	1,271	61.4	1,484	55.8	222	89.7
2020年3月期第2四半期	71,027	3.6	3,290	1.0	3,355	8.3	2,159	15.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,597百万円 (104.8%) 2020年3月期第2四半期 1,268百万円 (62.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.56	12.51
2020年3月期第2四半期	119.67	119.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	161,113	109,832	67.2	6,090.99
2020年3月期	166,633	109,139	64.6	6,061.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 108,277百万円 2020年3月期 107,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				115.00	115.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	6.6	4,500	33.3	4,500	34.5	2,100	52.1	118.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	19,293,516 株	2020年3月期	19,293,516 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,516,924 株	2020年3月期	1,546,409 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	17,759,997 株	2020年3月期2Q	18,043,690 株

自己株式数には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	10
(セグメント情報等)	11
3. 四半期決算補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出自粛や休業要請等の影響を受け個人消費や企業活動が著しく制限され、緊急事態宣言解除後も、新型コロナウイルス感染症の収束は見通しが立っておらず、経済へのマイナス影響は長期化することが懸念されております。

当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」において、『集中と結集』をコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めておりますが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が、当社グループに大きな影響を及ぼしていることから、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」の最終年度を2022年3月期まで1年間延長し、2020年度はその影響を最小限とする取り組みを最優先と致します。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、機能ソリューション事業は、海外販売を中心に影響を受けました。アパレル事業は、成長販路であるECチャネルでの大幅な販売拡大を進めましたが、休業や店舗販売の低迷をカバーできませんでした。またライフクリエイト事業は、ショッピングセンターやスポーツクラブの臨時休業の影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は58,067百万円(前年同期比18.2%減)、営業利益は1,271百万円(前年同期比61.4%減)、経常利益は1,484百万円(前年同期比55.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は222百万円(前年同期比89.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、収縮ラベル用フィルムは外出・イベント自粛により飲料向けが低迷しましたが、包装用フィルムが内食需要で好調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野は、一般産業用は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりオフィス関連向けOA製品が大きく低迷しました。電子部品分野は、中国でのサプライチェーン停滞によりタッチパネルの販売が減少しました。メディカル分野は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、医療機関の立ち入り制限等により、国内及び海外販売が減少しました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は23,623百万円(前年同期比16.4%減)、営業利益は1,946百万円(前年同期比30.3%減)となりました。

<アパレル事業>

インナーウェア分野は、EC、ドラッグストアのチャネルが好調に推移しました。レグウェア分野は、外出自粛のなか、ストッキングの着用機会が減少しましたが、一部レギンス等は好調に推移しました。アパレル事業全体では、コロナウイルス感染症による休業や外出自粛等により店頭販売は苦戦しましたが、緊急事態宣言の解除後は回復基調となっております。

以上の結果、アパレル事業の売上高は29,257百万円(前年同期比18.0%減)、営業利益は633百万円(前年同期比60.9%減)となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業において、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことにより、集客が落ち込み苦戦しましたが、賃貸事業は堅調に推移しました。スポーツクラブ分野は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休業要請の解除後も、会員の戻りは遅く影響を受けました。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は5,490百万円(前年同期比24.8%減)、営業利益170百万円(前年同期比61.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、161,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,520百万円減少しました。主な増加要因は、プラスチックフィルム分野でのベトナム新工場稼働等による機械装置及び運搬具の増加1,626百万円及び建物及び構築物の増加1,539百万円、商品及び製品の増加1,522百万円であり、主な減少要因は、新工場稼働等による有形固定資産その他の減少4,122百万円(建設仮勘定等)、政策保有株式の売却等による投資有価証券の減少2,614百万円、受取手形及び売掛金の減少1,812百万円、現金及び預金の減少1,166百万円であります。

負債は、51,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,214百万円減少しました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少2,761百万円、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金金の減少1,641百万円であります。

純資産は、109,832百万円となり、前連結会計年度末に比べ693百万円増加しました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加2,498百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加222百万円であり、主な減少要因は、配当による減少2,042百万円であります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,166百万円減少し、8,101百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して4,745百万円減少し145百万円となりました。主なキャッシュ・インの要因は、税金等調整前四半期純利益462百万円、減価償却費3,120百万円、売上債権の減少1,684百万円であり、主なキャッシュ・アウトの要因は、仕入債務の減少2,629百万円、たな卸資産の増加1,984百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して7,808百万円増加し2,220百万円の収入となりました。主なキャッシュ・インの要因は、投資有価証券の売却による収入5,561百万円であり、主なキャッシュ・アウトの要因は、固定資産の取得による支出2,800百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して5,873百万円減少し3,499百万円の支出となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は、配当金の支払い2,034百万円、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金による支出1,545百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、2020年8月4日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,267	8,101
受取手形及び売掛金	28,099	26,286
商品及び製品	21,857	23,379
仕掛品	6,672	6,667
原材料及び貯蔵品	4,487	4,838
その他	3,997	3,146
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	74,377	72,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,699	41,239
機械装置及び運搬具（純額）	9,455	11,081
土地	12,287	12,279
その他（純額）	6,478	2,356
有形固定資産合計	67,921	66,956
無形固定資産	1,774	1,626
投資その他の資産		
投資有価証券	15,591	12,976
その他	7,038	7,202
貸倒引当金	△69	△63
投資その他の資産合計	22,560	20,115
固定資産合計	92,256	88,698
資産合計	166,633	161,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,271	7,510
短期借入金	5,513	5,581
コマーシャル・ペーパー	6,600	5,400
1年内返済予定の長期借入金	560	6,149
未払法人税等	635	328
賞与引当金	1,437	1,420
その他	9,249	8,354
流動負債合計	34,267	34,744
固定負債		
長期借入金	11,973	5,874
退職給付に係る負債	5,446	5,110
長期預り敷金保証金	4,965	4,915
その他	840	635
固定負債合計	23,227	16,536
負債合計	57,494	51,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,701	6,697
利益剰余金	84,351	82,532
自己株式	△6,727	△6,566
株主資本合計	110,397	108,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,617	△119
繰延ヘッジ損益	57	△3
土地再評価差額金	△45	△45
為替換算調整勘定	507	209
退職給付に係る調整累計額	△731	△498
その他の包括利益累計額合計	△2,830	△457
新株予約権	187	187
非支配株主持分	1,385	1,368
純資産合計	109,139	109,832
負債純資産合計	166,633	161,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	71,027	58,067
売上原価	49,718	40,380
売上総利益	21,308	17,687
販売費及び一般管理費	18,017	16,415
営業利益	3,290	1,271
営業外収益		
受取利息	19	20
受取配当金	342	316
固定資産賃貸料	195	180
その他	82	168
営業外収益合計	640	686
営業外費用		
支払利息	110	70
固定資産賃貸費用	175	174
為替差損	117	11
その他	172	216
営業外費用合計	576	473
経常利益	3,355	1,484
特別利益		
固定資産売却益	9	1
投資有価証券売却益	1	1,309
負ののれん発生益	21	-
受取和解金	128	-
固定資産受贈益	-	34
特別利益合計	160	1,344
特別損失		
固定資産除売却損	89	47
投資有価証券売却損	0	1,304
投資有価証券評価損	-	36
関係会社株式評価損	22	-
債務保証損失引当金繰入額	52	39
新型コロナウイルス感染症による損失	-	938
特別損失合計	165	2,366
税金等調整前四半期純利益	3,350	462
法人税等	1,127	208
四半期純利益	2,222	253
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,159	222

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,222	253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△912	2,498
繰延ヘッジ損益	△13	△60
為替換算調整勘定	△297	△327
退職給付に係る調整額	268	233
その他の包括利益合計	△954	2,343
四半期包括利益	1,268	2,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,211	2,596
非支配株主に係る四半期包括利益	57	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,350	462
減価償却費	3,187	3,120
のれん償却額	66	66
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	△15
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	52	39
受取利息及び受取配当金	△362	△337
支払利息	110	70
為替差損益(△は益)	5	△8
固定資産除売却損益(△は益)	80	46
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△0	31
新型コロナウイルス感染症による損失	-	938
関係会社株式評価損	22	-
受取和解金	△128	-
負ののれん発生益	△21	-
その他の損益(△は益)	△32	△3
売上債権の増減額(△は増加)	1,703	1,684
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,142	△1,984
その他の流動資産の増減額(△は増加)	92	388
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,280	△2,629
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	538	△109
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△186	△335
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△64	△23
小計	6,037	1,399
利息及び配当金の受取額	362	338
利息の支払額	△117	△70
和解金の受取額	128	-
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	-	△858
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,520	△663
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,890	145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△4,238	△2,800
固定資産の売却による収入	12	3
固定資産の除却による支出	△50	△43
投資有価証券の取得による支出	△788	△474
投資有価証券の売却による収入	482	5,561
子会社出資金の取得による支出	△84	-
貸付金の増減額(△は増加)	35	△28
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,080	-
その他	124	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,588	2,220

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	5,545	△1,065
長期借入金の返済による支出	△396	△479
自己株式の取得による支出	△953	△2
自己株式の売却による収入	294	158
配当金の支払額	△1,987	△2,034
非支配株主への配当金の支払額	△33	△18
その他	△94	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,374	△3,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,569	△1,166
現金及び現金同等物の期首残高	8,102	9,267
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	744	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,417	8,101

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	機能ソリュー ション事業	アパレル事業	ライフクリエ イト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,195	35,599	7,232	71,027	—	71,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	89	67	216	△216	—
計	28,253	35,688	7,300	71,243	△216	71,027
セグメント利益	2,790	1,619	445	4,855	△1,564	3,290

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,564百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	機能ソリュー ション事業	アパレル事業	ライフクリエ イト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,478	29,162	5,426	58,067	—	58,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高	144	94	63	302	△302	—
計	23,623	29,257	5,490	58,370	△302	58,067
セグメント利益	1,946	633	170	2,750	△1,478	1,271

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,478百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 四半期決算補足説明資料

①当第2四半期(6ヶ月間)の業績等

(単位:百万円)

	当期 ('20年4-9月)	前年同期 ('19年4-9月)	増減 上段()は 増減率
売上高	58,067	71,027	(△18.2) △12,959
営業利益	1,271	3,290	(△61.4) △2,019
経常利益	1,484	3,355	(△55.8) △1,870
親会社株主に帰属 する四半期純利益	222	2,159	(△89.7) △1,936
総資産	161,113	173,999	(△7.4) △12,885
たな卸資産	34,885	33,436	(4.3) 1,448
固定資産	88,698	95,396	(△7.0) △6,997
純資産	109,832	109,521	(0.3) 310
金融収支 (受取利息・配当)	266 (337)	252 (362)	14 (△25)
(支払利息)	(△70)	(△110)	(39)
設備投資	6,174	1,932	4,242
減価償却	3,187	3,253	△66

<業績概要>

- 各セグメントともに新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収減益
- 機能ソリューション事業は、海外販売を中心に影響を受け減収減益
- アパレル事業は、成長販路であるECチャネルでの大幅な販売拡大を進めたが、休業や店舗販売の低迷をカバーできず減収減益
- ライフクリエイト事業は、ショッピングセンターやスポーツクラブの臨時休業の影響を受け減収減益

<主たる特別損益>

- 新型コロナウイルス感染症による損失
9億円
[スポーツクラブ施設や商業施設等の休業期間中の固定費(人件費・賃借料・減価償却費等)等を計上]

<通期予想>

- 当第2四半期連結累計期間の営業利益が概ね想定範囲内で推移していることから、既公表の業績予想から変更していない
- 年間配当は1株あたり115円を予定(前期115円)

【自己株式の取得等の状況】

取得した自己株式	0千株	2百万円
処分した自己株式	30 "	162 "
前期末に保有していた自己株式	1,546 "	6,727 "
当期末に保有している自己株式	1,516 "	6,566 "

②事業のセグメント別業績

(単位:百万円)

		当期		前年同期		増減	
		金額	ウェイト	金額	ウェイト	金額	増減率
売上高	機能ソリューション	23,623	40.5	28,253	39.7	△4,630	△16.4
	アパレル	29,257	50.1	35,688	50.1	△6,431	△18.0
	ライフクリエイト	5,490	9.4	7,300	10.2	△1,810	△24.8
	小計	58,370	100.0	71,243	100.0	△12,872	△18.1
	消去	△302		△216		△86	-
	連結合計	58,067		71,027		△12,959	△18.2
営業利益	機能ソリューション	1,946	70.8	2,790	57.5	△844	△30.3
	アパレル	633	23.0	1,619	33.3	△986	△60.9
	ライフクリエイト	170	6.2	445	9.2	△274	△61.8
	小計	2,750	100.0	4,855	100.0	△2,105	△43.4
	消去	△1,478		△1,564		86	-
	連結合計	1,271		3,290		△2,019	△61.4

③主要経営指標

(単位:百万円)

項目	当期	前年同期	増減	項目	当期	前年同期	増減
総資産営業利益率	% 0.8	1.9	△1.1	自己資本比率	% 67.2	62.1	5.1
総資産経常利益率	% 0.9	2.0	△1.1	自己資本四半期純利益率	% 0.2	2.0	△1.8
売上高営業利益率	% 2.2	4.6	△2.4	1株当たり四半期純利益	円 12.56	119.67	△107.11
売上高経常利益率	% 2.6	4.7	△2.1	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円 12.51	119.07	△106.56
				1株当たり純資産	円 6,090.99	6,027.10	63.89

④キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期	前年同期	増減	当期の主たる内訳
営業活動によるCF	145	4,890	△4,745	税金等調整前四半期純利益462、減価償却費3,120、売上債権の減少1,684、仕入債務の減少△2,629、たな卸資産の増加△1,984
投資活動によるCF	2,220	△5,588	7,808	投資有価証券の売却による収入5,561、固定資産の取得による支出△2,800
財務活動によるCF	△3,499	2,374	△5,873	配当金の支払い△2,034 コマーシャル・ペーパーの減少△1,200
換算差額	△32	△107	74	
現金及び現金同等物の増減額	△1,166	1,569	△2,735	
連結範囲の変更による増減額	-	744	△744	
現金及び現金同等物の期末残高	8,101	10,417	△2,315	

⑤事業部門の設備投資及び減価償却額

(単位：百万円)

		当期年間計画			前年同期		対前期増減
		金額	ウェイト	2Q累計実績	金額	ウェイト	
設備投資 ※無形固定資産を含む	(うち海外) 機能ソリューション	(3,600) 7,800		(3,153) 5,539	(256) 1,683	31.3	6,117
	(うち海外) アパレル	(500) 1,700		(168) 329	(578) 1,046	19.4	654
	ライフクリエイト	700	6.6	213	2,297	42.7	△1,597
	全社	400	3.8	91	352	6.5	48
	(うち海外) 合計	(4,100) 10,600		(3,322) 6,174	(835) 5,380	100.0	5,220
減価償却費 ※のれん償却額を含む	機能ソリューション	2,700	41.5	1,268	2,408	37.0	292
	アパレル	1,400	21.5	627	1,378	21.2	22
	ライフクリエイト	1,900	29.2	936	2,152	33.1	△252
	全社	500	7.8	355	562	8.7	△62
	合計	6,500	100.0	3,187	6,502	100.0	△2

【当期の主要投資計画】

- ・プラスチックフィルム生産設備 4,200百万円
- ・エンジニアリングプラスチック
生産設備 2,600 〃
- ・インナーウェア生産設備 1,100 〃

⑥通期業績予想

(単位：百万円)

	当期予想	前年同期	増減	
			金額	増減率
売上高	131,000	140,311	△9,311	△6.6
営業利益	4,500	6,746	△2,246	△33.3
経常利益	4,500	6,868	△2,368	△34.5
親会社株主に帰属する当期純利益	2,100	4,387	△2,287	△52.1

⑦セグメント別 通期業績予想

(単位：百万円)

		当期予想	前年同期	増減
売上高	機能ソリューション	52,200	56,361	△4,161
	アパレル	67,000	69,491	△2,491
	ライフクリエイト	12,300	14,945	△2,645
	小計	131,500	140,798	△9,298
	消去	△500	△487	△13
	連結合計	131,000	140,311	△9,311
営業利益	機能ソリューション	5,000	6,120	△1,120
	アパレル	2,400	2,743	△343
	ライフクリエイト	400	1,187	△787
	小計	7,800	10,052	△2,252
	消去	△3,300	△3,306	6
	連結合計	4,500	6,746	△2,246

※2020年8月4日に公表した通期業績予想からの変更はありません。